

3月議会 一般質問

一般質問で市民の願い取り上げ実現せまる

開会中の3月議会は1日の議案質疑で山岡光広・岡田重美・西山実の各議員が質疑を行いました。また4日から6日にかけて一般質問が行われ、15名の議員が登壇しました。

山岡光広議員

山岡光広議員は、①視覚障害者の福祉施策について、②通学バスの補助制度について、③コミバス・コミタクの再編問題について、④国民健康保険税の今後について4つのテーマで質問しました。

市内で視覚障害者手帳を保持している人は216人。60歳以上が7割近く占めており、高齢者に視覚障害が多いことから、眼底・眼圧検査の実施や視覚障害者のための補装具など福祉施策の充実を強調。「視覚障害支援ハンドブック」など作成して相談に対応を、と求めたところ、「検討する」との回答でした。

市内小中学校の児童生徒でバス代補助が支給されていないのが11人だけという実態をふまえて、「すべての子どもを対象にすべき」と提案。また「通学バス」として運行したらどうか、と提案。教育部長は検討すると応えました。

コミバス・コミタクが4月から大幅に減便されることについて「市民のニーズに応えた再編を」「減便・予約制デマンドになったら困る、という声がある。地域の声に応えた再編を」と要求。このなかで甲南の環状線及び土山の鮎河・山内、大野、土山の三地区は「予約制デマンドの導入を中止して現行通り運行する」ことを明らかにしました。

国民健康保険税が今後大幅に引き上げられる問題点について質しました。

西山実議員

西山実議員は、①有機フッ素化合物の検査について、②コンクリートブロックや石畳の歩道、道路の改修について、③水口細工の保存・伝承の3つのテーマで質問をしました。

いま全国的に問題となっている有機フッ素化合物。残留性が高く、発がん性など人体への悪影響が指摘されており、県内の河川や水道水から検出されていることから、甲賀市における検査の状況を質問しました。市民環境部長より「最大値は野洲川で19ppt、大戸川で22ppt、信楽川で14pptと基準値を下回っていること、水源地17か所、水道水13か所でも、11ppt以下の結果」と回答がありました。

西山議員は検査結果を市民に分かりやすく情報提供すべきと質しました。次に、笹が丘地先のコンクリートブロックの歩道の凸凹について、写真を見せて危険箇所を早期の改修を求めました。

三点目の水口細工について、実物を見せながら、甲賀市として水口細工を地域の文化として守り育てることが必要、年々収穫量が減っている原料の葛つる、アオツツラフジの採取の協力を呼びかけました。教育部長より「引き続き水口細工復興研究会の活動に協力するとともに、保存伝承に努めること、材料調達も支援していく」と回答がありました。

●…各議案に対する質疑

山岡光広議員は、子ども・子育て施策推進交付金2189万7千円の活用について質問。こども政策部長より「市内保育園おむつ無償提供事業1446万7千円、妊婦健康診査事業145万円、高校生世代福祉医療助成500万円などに活用」と回答がありました。

後期高齢者医療の健康診査については、市民環境部長から「令和6年度から国民健康保険の特定健診と同様に、対象者を見直し、長期入院および施設入所者以外が対象で、約13300人と約3.3倍に増加する」との回答がありました。

新規事業として補聴器購入費補助140万円に関しては、健康福祉部長から「医師から補聴器使用の必要性を認められた住民税非課税世帯に属する65歳以上の方が対象で、他の制度で同様の助成を受けていない方とし、購入費用の1/2、2万円を上限とする」と回答。山岡議員は「補聴器は高価なために上限2万円では少ない」と質しました。

岡田重美議員は、学びの多様な推進事業の不登校対策事業・スペシャルサポートルーム設置事業・教育支援センター事業・フリースクール利用支援事業について質問。教育部長より「学校における不登校傾向などの児童生徒の早期発見、早期支援体制の充実を図る」との回答がありました。

西山実議員は、令和6年度人件費予算が、令和5年度より4億3334万円増額している理由について質問。一会計年度任用職員に勤勉手当を支給する1億8900万円、給与等ベースアップ、地域手当の見直し、共済費の増額」と回答がありました。

復活した広島平和記念式典参加業務委託130万円については、令和4年度予算より減額の理由を質問。「令和6年度は人数を15人に縮小し、熱中症が心配される時期に子どもたちの疲労軽減に、新幹線利用、式典会場に近いホテルを確保する」との回答がありました。

第7回投票区域編成審議会が開催される

2月29日午後、甲南地域市民センターを会場に、第7回甲賀市投票区域編成審議会が開催され、答申案について審議されました。審議では、投票率の低下を招かないようにすることを大前提として、諮問に合わせて示された37投票区への見直しは急激であり、投票率が低下することが心配されることから、自宅から投票所までの距離を3km以内となるよう編成することなど地域事情を十分に考慮することなどが話し合われました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2024年 3月 10日 第487号



山岡 光広

甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実

水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044